

平成18年度

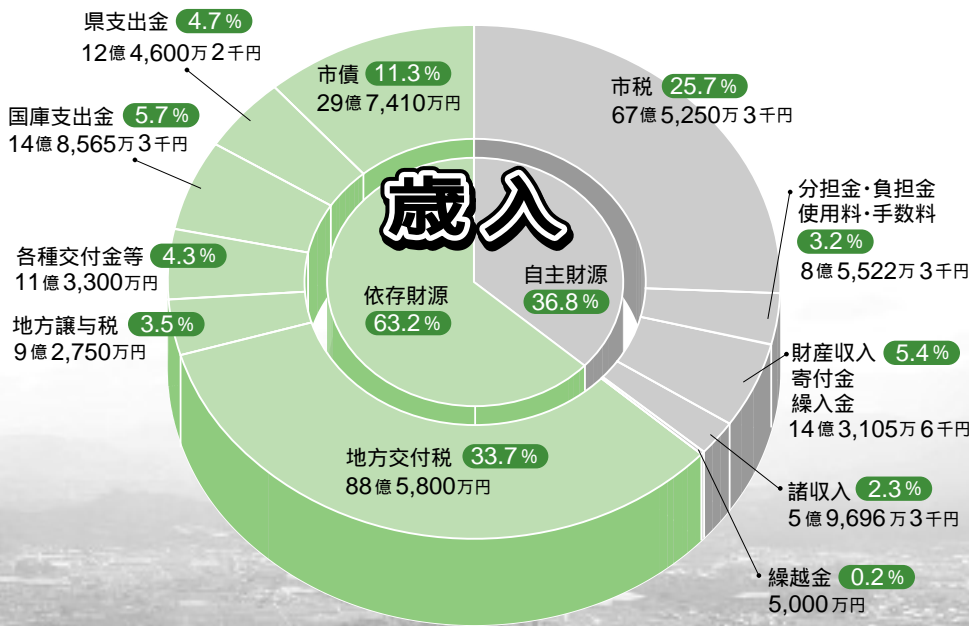
三豊市当初(骨格)予算

3月定例議会に上程した三豊市当初予算は一般会計263億1千万円、特別会計は9会計で232億9,730万円、企業会計(注1)は水道事業2億3,212万7千円、病院事業3億9,757万6千円です。

これはあくまでも骨格予算ですが、三豊市の財政は非常に厳しい状態にあります。歳入総額のうち、最も根幹的な財源である市税については、構成比で25.7%となり、分担金、負担金などその他の収入を加えても、自主財源は36.8%。一方、地方交付税、国庫支出金、市債など依存財源の率は63.2%に上っています。

特徴的な状況としては、歳入では、地方交付税が市税の額を超え、歳出では、人件費が市税では賅えない状況となるなど、依存型財政構造が顕著とな

一般会計 263億1千万円



当初予算は、1年間のすべての歳入歳出予算として計上しますが、平成18年度は選挙時期の関係で予算編成時に市長が不在でしたので、政策的な判断が難しい状況にありました。

そこで、人件費などの義務的経費および継続事業、また、合併協議での協議済み事項を反映させた必要最小限度の経費を計上する「骨格予算」としています。

今後、政策的経費や、新規事業費等を加える補正予算「肉付け予算」を計上(6月議会に上程)する予定です。

ついでに。

この財政状況を改善するため、三豊市は、まず徹底した行財政改革に取り組みます。平成18年度1年間をかけて中期財政計画と行財政改革案を作成し、簡素で効率的な行政体制の構築を目指します。また、地場産業の振興や三豊市の豊かな資源を活かした新産業基盤づくりで経済基盤を強化します。

なおかつ、子育て支援、男女共同参画、高齢者福祉の充実をはかり、支え合い助け合うまちづくり、災害や犯罪のない安全で安心なまちづくりにも挑戦していきます。

特別会計

単位：千円

地域農産物利用促進センター事業特別会計	46,700
国民健康保険事業特別会計	7,310,000
国民健康保険診療所事業特別会計	180,000
老人保健事業特別会計	10,079,800
介護保険事業特別会計	4,976,400
介護サービス事業特別会計	87,900
集落排水事業特別会計	155,000
浄化槽整備推進事業特別会計	405,000
港湾整備事業特別会計	56,500
計	23,297,300

企業会計

水道事業会計

単位：千円

区分	収益的	資本的
収入	2,108,410	333,534
支出	1,867,725	707,732

病院事業会計

単位：千円

区分	収益的	資本的
収入	3,166,999	121,994
支出	3,146,135	188,114

注1の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計から減価償却費等をひいたもの。資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、損益勘定留保資金等で補填する。

性質別歳出

